

## 国土交通大臣賞

表彰事業名	大阪都市計画都市高速鉄道 JR 阪和線連続立体交差事業		
表彰対象者	大阪市建設局		
都市名	大阪市	事業主体	大阪市
事業概要	<p>本事業は、鉄道を高架化することにより、踏切を除却し、踏切において発生していた深刻な交通渋滞や踏切事故を解消し、交通環境の改善や高架下の有効利用などを含めた地域の活性化を図る事業であり、阿倍野区文の里4丁目付近から住吉区杉本3丁目付近の間で5路線の幹線道路と交差する約4.9kmの区間を高架化し、12箇所の踏切(うち11箇所の開かずの踏切)を除却するものである。</p> <p>事業延長: 4,860m 総事業費: 約800億円 事業期間: 昭和58年～平成19年 (平成18年5月21日 全線高架切替済)</p>		
表彰理由	<p>本事業の完成により、踏切交通遮断量全国ワースト10のうちの3踏切が除却され、大阪市内の踏切交通遮断量の約1/4が減少した。</p> <p>これにより、深刻な踏切事故(毎年発生)の解消と慢性的な交通渋滞が解消され、大幅な環境改善や安心・安全なまちづくりの形成に多大な効果が発現されたことが高く評価された。</p> <p>また、高架下を有効に利用して、商業施設や駐輪場などを整備するなど、良好な空間形成を図ったことも評価された。</p> <p>さらに、平成7年の阪神大震災後、計画決定時における阪神高速道路との一体構造物に対する耐震安全性への不安の高まりなどの要因により、着工が遅れていたが、踏切における渋滞や事故の多発など深刻な状態を早期に解消するため、関係機関や周辺住民と根気よく調整を図り、阪和線の高架化工事と阪神高速道路を分離して先行着工し、完成させたことに対する事業者の姿勢についても高く評価された。</p>		